

多くの動物病院様から、ご支持をいただいております

こうご動物病院

東京都多摩市 TEL: 042-400-7212



院長 向後亜希先生
 聖心女子大学文学部心理学科卒業後、
 獣医師を目指し、酪農学園大学獣医
 学科へ編入学し卒業

- 日本ホメオパシー医学会認定獣医師
- 日本ホトキシコロジー協会所属
- 日本医療・環境オゾン学会所属
- 点滴療法研究会所属
- バッチフラワーレメディ レベル1,2 取得

こうご動物病院は、「小さな身体に優しい治療」をモットーに西洋医学だけでなく、東洋医学・自然療法を取り入れて人と動物を癒す治療院。



同院を訪れる飼い主の多くは、西洋医学を主とする他院の治療内容に満足が得られず、最後の希望を向後先生に託しています。事実、従来の薬物や外科手術では治ら

なかったペットが、東洋医学を取り入れた治療を受けて歩けるようになることも少なくないということです。

アネモネ動物病院

長野県諏訪郡 TEL: 0266-26-8718

アネモネ動物病院の強みは、がん治療・アレルギー治療・関節治療。

西洋医学の利点を生かしながら、生命が本来自らもっている「自然治癒力」を原点到、この自然治癒力を高め、心も含めた体全体のバランスを見て、体に負担がなく効果的な治療を実践しています。診療以外のサービスとして、アロママッサージ・リフレクソロジー・レイキヒーリング・リコネクションヒーリングなどの施術やトリミングルーム、アロマルーム、

いずみ犬と猫のクリニック

神奈川県横浜市 TEL: 045-803-8033



同院の大きな特徴は、ホメオパシーやホトキシコロジー、ハーブなどによる自然療法。動物への負担をなるべく軽減するよう心がけ、待ち時間

を短くするために予約制となっています。また、猫と犬が顔を合わせないよう待合室を分離して、犬・猫専用診察室を設けています。

また、猫とそれ以外の治療導線を完全に分けているのも、「こうご動物病院」の大きな特徴。猫ちゃん専用の待合室、診察室、入院室、医療機器などが完備されています。診療だけでなくペットホテル、トリミング、しつけ教室、飼い主様向けセミナーなども行っています。



バランスアルファについて・・・

ペットフード会社の知人から「とても良いサプリメントだよ。」と勧められたのがバランスアルファを試したキッカケでした。

もともと人間用として作られたサプリメントなのでペットオーナー自身も試すことができるのが良い点だと思います。イヤな味がしないので、味覚にうるさい猫でも使用しやすいですね。

実際にバランスアルファを試した感想ですが、腎不全末期でほとんど食べることができなかった猫がバランスアルファを与え始めたら、少しずつ食べられるようになったので、すごい効果だな、と思いました。

そして天然温泉（動物用）などの施設も用意しています。

バランスアルファについて・・・

試した感想ですが、人はもとより犬・猫など動物にも使えそうだと感じました。

バランスアルファが他のサプリメントと違う点は「飲みやすさ」でしょう。身体の芯まで入っていく感じがあり、しっかりした手応えを感じます。

バランスアルファについて・・・

私自身、20年近く花粉症に悩まされ花粉の飛散している時期は、薬が手放せませんでした。バランスアルファを飲み始めてから薬を飲まなくても良くなり、今では殆ど症状がありません。また、昨年、C型肝炎が発症しましたが30mlを一日に3回、計90ml飲むようにしたら肝酵素がみるみる下がりました。

その後、新薬を飲みウイルスを除去しました。患者さんでは、特に猫の腎臓疾患でバランスアルファの効果を感じています。使っていらっしゃる方は皆さん、疾患と上手共存しているように思えます。



バランスアルファ通信



愛しいペットの本当のしあわせを願うあなたへ
Vol, 12

(株)高橋剛商会



〒170-0002
 東京都豊島区
 巣鴨 2-16-4
 TEL 03・3576・5811
 FAX 03・3576・5815
 フリーダイヤル:0120・76・5812



胃がん：40万円～
 椎間板ヘルニア：20万円～
 白内障：10万円～

この金額は、犬や猫の治療費の目安です。
高すぎて払えない!?

治療より予防が大切!

人間と違って動物の場合は健康保険制度がなく、全て自由診療になるため病院によって治療費は違いますが、想像以上に高額です。

病気になった際、急に数十万円単位の治療費がかかったとしたら、あなたはすぐさま支払いが出来るでしょうか?

ペット保険もありますが・・・人の医療保険と同様に健康なペットしか加入することができません。

最近では医療の高度化によって治療費が高くなるとともに、医療の進歩によって寿命が延びた分、病気になるケースが増え、治療費が多くなる傾向があります。

生涯で犬は100万円、猫は60万円の医療費がかかるといわれます。

お金だけの問題ではありません。病気治療は小さな身体に大きな負担をかけるケースもあります。

ペットは体調が悪くても、あなたに訴えることができません。

「病気にもっと早く気がついてあげられればよかった。」と後悔しないよう、長生きしてほしい大切なペットだからこそ、健康なうちから健康診断についてしっかりと考えてください。

彼らにとって生きる上での最大の頼りはあなただけなのですから。

そこで今回は、「健康診断のすすめ」です。

「バランスアルファ」モニターキャンペーン 先着20名様限り!

無料でお試しできることを、あなたのペットつながりの方に教えてあげてください。



ご請求方法はカンタン!



お電話の場合は・・・通話料無料のフリーダイヤル
0120-76-5812
 (9時～17時、土日祝休み)



FAXのご場合は・・・別紙、サンプル申込み用紙に必要事項をご記入のうえFAXするだけ。



インターネットの場合は・・・**バランスアルファ** で検索。

※無料サンプルは1人でも多くの方に試して頂けるよう1家族様一本とさせていただきます。



健康診断のすすめ ペットの健康診断で病気の予防を!

ペットの健康診断、していますか?
25年間で犬の寿命は1.5倍、猫の寿命は2.3倍に延びました。
病気の早期発見・早期治療のために、定期的な健康診断をオススメします。

健康診断を受ける目安

健康診断は、パピーの時から受けておくことをおすすめします。
年齢を重ねるほど体の心配は増えますが、若い時に病気が発症することもあり、若い時ほど病気の進行は早いと言われているので、早期発見が大切です。

ワンちゃん、猫ちゃんは1歳でおよそ20歳になりますが、その後1年過ぎるごとに人間で考えると約4歳、年をとります。血液検査などを含んだ本格的な健康診断を受ける頻度は、パピー〜アダルトは最低1年に1度、シニア期に入ったら半年に1度が理想的です。

健康診断の内容

✓ 血液検査

ほんの少しの血液で、体の中で今起こっていることがいろいろ分かります。栄養状態、貧血の有無、感染症にかかってないか、肝臓や腎臓の状態、その他身体に必要な成分の過不足等。血液検査の項目にもよりますが、簡単なもので3000円程度、詳しいもので8000円程度。

✓ 超音波エコー検査

動物に苦痛を与えず簡単にすぐできる検査で、体の中に異常な液体が貯まってないか、腫瘍などができていないか、また心臓のリアルタイムの動きや形態の異常を知る事ができます。超音波ゼリーを塗るため腹部の毛をそることもあります。小型犬5000円、大型犬10000円程度。見る場所によって費用が変わります。

✗ X線検査

もっとも重要な検査の一つで各臓器の形態、大きさを診たり腫瘍や心臓の状態、骨の異常を調べます。また造影剤をあわせて使用すると脊髄や腸や胃や膀胱の細かい部分の診断も可能になります。小型犬5000円、大型犬10000円程度。撮った枚数によって費用が変わります。

✓ 内視鏡検査

胃カメラの事で食道や胃、腸の一部を細かく観察でき、場合によっては異常な部分をマジックハンドのようなものを使い採取しそれを細かく検査しさらに精密な診断も可能です。

✓ 心電図、心音図検査

心臓の活動を電氣的に診る検査で主に心臓の肥大の程度と不整脈を診断します。
また心音図は心臓から出る異常音(心雑音)の診断に威力を発揮します。

✓ 便・尿検査

尿検査では蛋白、ブドウ糖、潜血、PHなど 検便では虫卵、原虫、各種細菌などを調べ、寄生虫の有無や結石になりやすいかどうか分かります。1000円から2000円程度。

✓ ネコウイルス検査

猫の感染症の中で特にその名前を耳にすることが多い、猫エイズウイルス感染症(FIV)や猫白血病ウイルス感染症(FeLV)に感染しているかを検査することができます。

✓ 歯石除去

3歳以上のワンちゃんや猫ちゃんの約8割は歯周病を発症していると言われています。
歯周病は歯垢や歯石に含まれる細菌により炎症を起こす病気で、ワンちゃんは人の約5倍の速さ(3~5日)で歯石がつくため歯周病にかかりやすいです。
歯周病が進行すると歯の周りの組織が破壊され、歯がグラグラしたり膿が出たり、強い口臭も発生します。
また細菌の出す毒素が血液中に入ること全身性の病気(心臓病・肝臓病・腎臓病など)を引き起こすことがあると言われています。
大切な家族の歯や歯肉を守るためには、歯垢や歯石が蓄積しないようにすることが大切です。
普段から歯磨きをしてあげるのがベストですが、ついてしまった歯石はしっかりとってあげましょう。
口腔内の環境もよくなり病気の予防など、効果が期待出来ますので**3ヶ月に1度の口腔内チェックが理想**です。



人は予防するのに・・・ ペットはしないの? ワクチンで予防!

感染症からワンちゃん、猫ちゃんを守るため、
混合ワクチンの接種を行いましょう。
ワクチン接種率はイヌの約82%に対し、ネコは約54%(2014年調査データ)

✓ 感染症予防ワクチン

さまざまな感染症から予防するための予防接種があります。ワンちゃんのライフステージや生活環境に応じて4種混合、6種混合、10種混合など、病院によってもいろいろな種類のワクチンがあります。
獣医師の説明をよく聞いて、どの注射を受けるのか判断しましょう。
費用はワクチンの種類や病院にもよりますが、1回8000円から10000円程度。1年に1回受けることが勧められます。
※子犬、子猫の場合は確実な予防効果を得るために1か月ごとに2~3回接種する必要があります。

✓ 狂犬病ワクチン

狂犬病は現在、日本では発生していませんが、海外ではまだ発生している国が多いのが現状です。
いつ海外から病気が入ってくるとも限りません。狂犬病のワクチン接種は国の法律で義務づけられています。
狂犬病予防の注射とともに、国に飼い犬としての登録をし鑑札をもらいます。その登録料として3000円かかります。
この登録は一頭につき一度でいいので、初めて狂犬病予防注射を受ける時にだけかかる費用です。

✓ フィラリア

フィラリアの子虫を持った蚊にさされることで感染し、重症になると命をおとすこともある危険な病気です。
蚊の発生時期にあわせて(5月~12月まで)月1回飲み薬を飲んで予防しましょう。
※猫ちゃんのフィラリア症の予防には首の後ろに垂らす液体タイプの薬もあります。

✓ ノミ、マダニ

お散歩の時に、ノミやマダニがつくことがあります。
ノミの吸血でアレルギー性の皮膚炎になったり、マダニから病気がうつる場合もあります。
また最近ではダニ媒介性感染症「SFTS」で日本国内での人間の死亡例の報告があります。SFTSはウィルスを保有するフタトゲチマダニ、オウシマダニなどマダニ類の咬傷を受けることで感染、発症するウィルス性の病気です。
これらのマダニは全国的に分布しており、ワンちゃんに寄生していることもよく見かけます。ワンちゃんのみ予防だけでなく飼い主様の予防のためにも、ワンちゃんのマダニ予防をしっかりとしましょう。月1回、皮膚につける薬か飲み薬でノミ、マダニ予防ができます。

風邪知らずに育ってくれた黒パグちゃん

我が家の黒パグちゃんは今まで度も風邪をひいたことがありません。



初めて犬を飼う私は犬の風邪のことなど何も知りませんでした。なので、フリーダーさんからパグちゃんを譲り受けるときに犬も風邪を引いたりするんですかと尋ねてみました。フリーダーさんからは犬も風邪をひくし、そこから大きな病気になったりもするということを聞かされてビックリしました。

風邪を予防する方法はないかと伺って、「バランスアルファ」というサプリメントを紹介されました。

初めは犬に飲ませても大丈夫なのかと思っていました。でもフリーダーさんオススメのサプリメントなので、飲ませてみることにしました。

サプリメントと聞いて嫌な味があったり、匂いがしつたりを想像していましたが、ほとんど無味無臭で、嫌がらずに飲んでくれました。

半信半疑で飲ませ始めましたが、子犬の頃から13歳の現在まで一度も風邪をひいておりません。「バランスアルファ」のおかげかなと、感謝しております。

治療より予防が大切だと思いますので、これからも風邪予防のために与え続けたいと思います。

(兵庫県 女性)